第2号様式　その1

エネルギー状況報告書

1　特定エネルギー供給事業者の概要

（1）　特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 （法人にあっては名称及び代表者の氏名）	東京ガス株式会社 代表執行役社長　笹山　晋一
特定エネルギー供給事業者の住所 （法人にあっては主たる事務所の所在地）	〒105-8527 東京都港区海岸1－5－20

（2）　事業の概要

発電事業の有無	◉ 有　　○ 無
都内供給区分	☑特別高圧　☑ 高圧　☑ 低圧（電力）　☑ 低圧（電灯）
事業の概要 （発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。）	■電力小売事業 2016年4月より低圧のお客さまへ電気販売を行っています。 ・対象エリア：東京都　神奈川県　埼玉県　千葉県　茨城県　栃木県　群馬県　山梨県　静岡県　愛知県、岐阜県（一部除く）、三重県（一部除く）、長野県、北海道　※離島除く ■発電事業 川崎天然ガス発電(株)、(株)扇島パワー等 電源を約160万kW確保しており今後拡充していきます。 発電には最新鋭の高効率なガスタービンコンバインドサイクル方式を採用しています。

（3）　担当部署

報告書の担当部署	名称		リビング戦略部
	連絡先	電　話　番　号	0570-002-239（東京ガスお客さまセンター　ナビダイヤル）
		ファクシミリ番号	
		電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	
公表の担当部署	名称		リビング戦略部
	連絡先	電　話　番　号	0570-002-239（東京ガスお客さまセンター　ナビダイヤル）
		ファクシミリ番号	
		電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2023 年 11 月 01 日 ～ 2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☑ ホームページで公表	アドレス: https://www.tokyo-gas.co.jp/sustainability/download/index.html
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:
		入手方法:
	☐ その他	

2　特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量

(単位　千t-CO_2)

項目	前々年度	前年度
排出量	2,701.39	2,235.67

3　特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況

(単位　kg-CO_2/kWh)

項目	前々年度	前年度
全電源のCO_2排出係数	0.447	0.356
(火力発電のCO_2排出係数)	0.340	0.340
調整後CO_2排出係数	0.454	0.330

(単位　%)

把握率
100.00%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

高効率LNG発電所からの電力調達を中心とし、かつ最大効率、メリットオーダーを考慮した発電所稼働に努め、排出係数の削減に取り組んでおります。

4　再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量(千kWh)	利用率(%)	利用量(千kWh)	利用率(%)
再生可能エネルギー	79,050	1.31%	90,348	1.44%
(FIT電気)	30,348	0.50%	28,856	0.46%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

(洋上風力)茨城県鹿島港における洋上風力発電事業を推進し、調査や設計等、開発を進めています。また、NEDOグリーンイノベーション基金事業/洋上風力発電の低コスト化プロジェクト着実ににについて、検討を進めております。
(バイオマス)建設中であった伏木万葉埠頭バイオマス発電所が稼働開始しました。市原八幡埠頭バイオマス発電所については、着実に建設を進めており23年度の稼働を目指しています。
(太陽光)2023年3月31日に四国電力株式会社と共同で、備前雲の上太陽光発電所(発電出力:7万kW)及び夢前夢ふる里太陽光発電所(発電出力:5万kW)における太陽光発電事業を取得。本事業は、2020年12月から発電所の営業運転を開始し、再生可能エネルギー固定価格買取制度(以下「FIT制度」)を利用して、発電する電気の全量を中国電力株式会社および関西電力株式会社へ売電しており、発電出力は12万kW(太陽電池の合計出力約18万kW)となります。

第2号様式　その3

5　その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

（1）　未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 （千kWh）	利用率 （%）	利用量 （千kWh）	利用率 （%）
63,903	1.06%	88,341	1.41%

（未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等）

2022年度については、清掃工場のごみ発電により調達し、都内の利用量は88,341千kWhとなりました。

（2）　火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・22年3月に買収したガスエンジン発電所である（株）茂原パワーと（株）椎の森パワーを運転開始しました。
（なお、両社は2022年9月に合併し、（株）東京ガスコルザパワーとなっております）
ガスエンジンは優れた起動性能と負荷追従性を有し、複数台を効率よく運用することで、不安定な再生可能エネルギーを補完する電力調整を高い発電効率で行うことが可能となります。
・プラントメーカーなどと連携を取りながら定期的なメンテナンス体制を維持し、熱効率維持に努めております。

（3）　都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客さま向けWeb会員サービス「myTOKYOGAS」会員向けに、省エネ行動を促進するために、過去の電力使用量等の適宜照会等の情報提供を実施しています。
・業務用ビル、工場等のお客さま向けの「TGグリーンモニター」・「楽省！BEMS」、「TGみるネット」では、エネルギーの見える化、分析レポートの提供、システム制御等を行い、お客さまの省エネ・省CO2に貢献しています。
・ご家庭の暮らしの中で、省エネを推進するための方法やその効果、省エネに貢献する住宅設備などの情報を冊子やホームページを通じて提供しています。

（4）　その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・事務所での取り組み
当社の事業所等では、コージェネレーションシステムや省エネ設備の導入、照明や空調機器の高効率化等の設備改修といったハード面の取り組みに加え、CO2濃度に合わせた外気導入量調整、照度管理、湿度・室温の適正管理などの実効性の高い省エネ活動を行っています。
また、事業所等において再エネへの切り替えを推進しており、浜松町本社ビルにおいては非化石証書付実質再エネ電力への切り替えを実施し、またガスについてはカーボンニュートラル都市ガス（CNL）への切り替えを実施しました。
また、その他事業所において順次、非化石証書付実質再エネ電力への切り替えを実施しています。
・森林保全・緑化活動
当社は、長野県北佐久郡に「長野・東京ガスの森（194ha）」を開設し、2005年より森づくりや保全活動を通じて地球温暖化防止に貢献しています。

6 メニュー別調整後CO2排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO_2排出係数（kg-CO_2/kWh）	再エネ利用率・環境価値利用率(%)		調整後CO_2排出係数（kg-CO_2/kWh）	再エネ利用率・環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	2.76%	5.02%	0.000	1.52%	3.01%
メニューB	－	－	－	0.000	1.52%	0.00%
メニューC	－	－	－	－	－	－
メニューD	－	－	－	0.373	1.52%	3.01%
メニューE	－	－	－	－	－	－
メニューF	－	－	－	－	－	－
メニューG	－	－	－	－	－	－
メニューH	－	－	－	－	－	－
メニューI	－	－	－	－	－	－
メニューJ	－	－	－	－	－	－

（メニュー別調整後CO2排出係数等に係る取組実績）

非化石証書（再エネ指定）を用いた実質再エネの電気をメニューAとして供給しています。
非化石証書（再エネ指定なし）を用いた電気をメニューBとして供給しています。